

「高崎プライド」～心と形を整える～

令和2年12月18日（金） NO20 文責 木下 文秋

勝手に選んだ10大ニュース（今週は10位から6位まで）

来週は終業式を迎え、令和2年に終わりを告げます。とにかく今年はコロナに振り回されました。そんな中で私が勝手に選んだ10大ニュースをお知らせします。軽い気持ちで読んでね。
第10位「自主的参加の愛校作業」 8月23日の日曜日に愛校作業を行いました。コロナ禍の影響もあり、ビーバーを持参できる方々に自主的参加をお願いをしたところ予想以上に多くの保護者の方に来ていただきました。暑い日差しの中、汗びっしょりになりながら作業を進めていただいたことに心から感謝し御礼を申し上げます。今後とも、保護者の皆様の力添えをいただきながら丁寧に学校運営に携わりたいと思います。ありがとうございました。

第9位「小学校の先生、3年1組の合唱に感動」 10月14日高崎地区の授業研究会が本校で行われ、地区内の小学校の先生方が来校されました。体育館で開会行事を行う前に、合唱コンクールで優秀賞となった3年1組の歌を披露したところ、とても感動されました。小学校の頃の様子を知っている先生方としては、その成長ぶりに心を打たれたのだと思います。「もう一度聴きたい」「小学生に聴かせたい」というリクエストもいただきました。中学校として最低限の仕事はできたのかなと思いました。しかし、本当に皆さんに聴かせたいくらいうまかったです。入学説明会で歌ってほしいと言われましたが、入試に向けて猛勉強中ですので…。

第8位「3年生が歌うハッピーバースディ」 毎日給食の時間に放送が流れ、今日の献立とかお知らせがあり、最後に誕生日の人の紹介があります。校長室の真上は3年生の教室ですが、どの学年の生徒の時も必ず3年生の教室から「拍手」が聞こえます。更に、クラスの仲間の誕生日だと全員でハッピーバースディを合唱します。ちなみに、3年職員の誕生日にも同じことが繰り返されます。11月が誕生日だった平田先生は集合写真まで撮られていました。

第7位「1年生の変容ぶりに感動」 1年生が4月に入学をしてきましたが、全員マスクをしているので、なかなか顔と名前を覚えず、耳にした生徒の名前を顔写真で確認することが多々ありました。入学当時「校内であいさつをする」という文化が1年生の中になかったのだと思います。しかし、上級生が当たり前のように職員室や廊下で何度も何度も挨拶をする姿を見て「これが当たり前なんだ」と1年生のスイッチが入りました。今では顔を合わせるたびに、挨拶をする生徒が何人もいて、恐らく同じ生徒と一日に数えられないくらい挨拶をすることがあります。中には、授業の様子を見て回ると、教室の中から挨拶をする生徒もいて苦笑いです。

第6位「新しくなったWC」 1年生と2年生が使用するトイレが新しくなりました。本校は昭和38年に生徒数1581名という記録が残っており、平成の初期は500名ほどの生徒数で推移したので便器の数もそれなりにありましたが、今回数を見直し、広さを確保しつつ男女ともに様式となりました。照明は自動、床もセメントからクッションフロアという素材に代わりとても明るく衛生的なトイレとなりました。しかし、女子生徒いわく、便座が温かくないので、とても冷たいそうです。そうか～。そこは我慢してね。大切に使ってください。